

新甲子温泉
国民保養温泉地計画書

令和7年3月
環境省

— 目 次 —

1.	温泉地の概要	2
2.	計画の基本方針	2
3.	自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策	2
4.	医学的立場から適正な温泉利用や健康管理についての指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等	4
5.	温泉資源の保護に関する取組方針	4
6.	温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策	5
7.	温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する計画	6
8.	高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画	8
9.	災害防止対策に係る計画及び措置	8

添付

1. 国民保養温泉地位置図
2. 国民保養温泉地区域図

1. 温泉地の概要

日光国立公園那須岳の北に連なる 1,900m前後の山々や阿武隈川の源の地があり、その源流に近い渓谷沿いに甲子（かし）温泉がある。この温泉は至徳元年（1384）年甲子（きのえね）の年に州安和尚に発見されたことが名前の由来となっている。その甲子温泉の約 5 k m 手前に位置するのが、昭和 36 年に甲子温泉の源泉を引き湯して開かれた新甲子温泉である。標高約 800mの高原にあり、ブナやミズナラの原生林に囲まれ、鳥類、昆虫類が多種みられ、自然を満喫することができる。新甲子より甲子に至る道筋には、むかし剣を持ってこの木に鬼神を封じこめたという伝説の桂の大木があり、称して「剣桂」と言われている。

東北の玄関口に位置し、首都圏から 2 時間足らずで着くことができる。また、阿武隈川源流の郷である新甲子地内には川沿いに新甲子遊歩道があり、新緑と清流、山々が一面真っ赤に染まる紅葉、白銀の世界と四季を通じて自然を満喫することができる。四季それぞれに美しく輝く大自然と高原の味覚を楽しめる旅館での食をはじめ、温泉施設やゴルフ場もあり、子供から大人まで家族そろって楽しむことができる。

2. 計画の基本方針

新甲子温泉は、首都圏からのアクセスの利便性から周辺の栃木県那須方面及び会津地方への観光地への中継地点となっている。また、温泉を利用した健康増進の推進を図るとともに国立公園の利用拠点としての効果も考慮して、基本方針を次のとおりとする。

- (1) 温泉の湧出量及び良質の確保等による源泉の保護並びに温泉の合理的採取及び利用の増進を図る。
- (2) 温泉地の自然豊かな環境を活かした事業を展開していく
- (3) 湯治場としての昔ながらの温泉街の景観や風情を継続して保全していく
- (4) 温泉地の歴史や文化、風土を継承していく

3. 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策

(1) 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

新甲子温泉が位置する西郷村は、福島県の南端、白河市の西に位置し、日光国立公園に代表される水と緑に恵まれた自然環境、里山と田園風景が残る農村集落の環境、新白河駅周辺の都市的環境という特色ある 3 つの顔を持っている。また、日光国立公園が広がる村の西部には那須連山（1,900m級）の美しい山並みと、福島県を貫流し宮城県まで達し太平洋に注ぐ阿武隈川の源流を有している。位置的には、西は南会津郡下郷町（しもごうまち）、北西は岩瀬郡天栄村（てんえいむら）、南部は栃木県那須町と接し、東部には東北新幹線と東北縦貫自動車道が走り、それらを隔てて白河市と隣接している。高速交通網は、新幹線が止まる J R 新白河駅と白河インターチェンジの 2 大交通網を有しており首都圏からの交通の便としては非常に便利である。また、日光国立公園、那須連山の甲子山等が美しい姿を見せており、この東斜面に広がる白河甲子高原地帯に位置する西郷村は、“さわやか高原公園都市にしごう”のキャッチフレーズのもとに豊かな自然に恵まれた村となっている。

村の中央を阿武隈川とその支流が還流し、流域の随所で美しい渓谷美を形作っており、この渓谷美を楽しむことができる雪割橋がある。春から夏にかけては新緑、秋には一面燃え立つような朱色に染まる紅葉、冬は名前の由来のとおり雪を割ったような渓谷が広がり四季折々の変化の富んだ顔を覗かせている。雪割橋に隣接して西の郷遊歩道が整備され、全長 3.6 k m、所要時間約 2 時間を要するコース内では、夫婦滝・一休みの滝や熊の滑り台等の多くの滝を観ることができる。

新甲子温泉は、標高約 800m の高原に位置し、また、日光国立公園にも属していることから、自然豊かで、

ブナやミズナラの原生林に囲まれており緑豊かな溪谷や朱色に染まる紅葉が楽しめる。素朴な味わいを残す温泉や近代的でゆったりとくつろげる温泉を堪能する事ができる。近くには新甲子遊歩道が整備され、全長 2.2 k m、所要時間約 1 時間 30 分要するコース内では、阿武隈川の源流の水の美しさを間近で感じる事ができる。

豊かな大自然に恵まれた“さわやか高原公園都市にしごう”では、いたるところにその優しさとぬくもりを感じる事ができる。春の訪れとともに多くの花々が高原のあちこちに咲き誇り夏にはブナの原生林をさわやかな風が吹き抜け、秋の溪谷に映える紅葉の美しさは、まさに自然が生みだしたキャンパスのようである。一面雪でおおわれる神秘的な冬、大自然のふところに抱かれて湯につかれれば、訪れた方の心にゆとりとやすらぎを感じさせる。



西郷村のまちなみ



新白河駅



勝花亭



雪割橋

(2) 取組の現状

新甲子温泉では、西郷村や西郷村観光協会を中心とするイベントなどに関して、様々なPR活動を行っている。特に毎年5月中旬に行っている「甲子高原花いっぱい運動」では、甲子地区を横断する国道289号線の緑地帯にペコニアの花を約10,000本植えて観光客を出迎える活動や、4月の下旬に開催される「剣桂しめ縄奉納祭」では甲子地区の安全祈願を実施している。10月下旬の「うつくしま・みずウオーク源流の郷・西郷大会」では、甲子・新甲子温泉の割引入浴券を参加者全員に配布し、PRを兼ねて利用客の増進に努めている。年間を通しては、温泉割引チケットを販売し村内外からの誘客を図っている。また、首都圏等での知名度アップ戦略として「甲子・新甲子の湯」といった新甲子温泉の温泉成分と同じ入浴剤を製造し、観光PRと一緒に

配布して認知度を広げる活動を行っている。さらには、新甲子温泉内の行政区が中心となり「四季を守る会」を立ち上げ、環境美化清掃活動を通年実施し、新甲子温泉の美しい景観と環境を守っている。



甲子高原花いっぱい運動



剣桂しめ縄奉納祭

(3) 今後の取組方策

新甲子温泉において、さらに自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等を図るため、関係機関等と調整の上、(2)の取組を継続する。また、一番利用率の高い中高年層に向けて健康増進のための取組を強化する一方で、若年層にも利用してもらえよう首都圏を中心とした幅広いPR活動にも力を入れていく。東日本大震災による影響で廃業となる施設も増える昨今、行政機関及び西郷村観光協会・新甲子温泉旅館組合等が一丸となって温泉地の再興と活性化を目指していく方針である。

4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等

(1) 医師又は人材の配置の状況

新甲子温泉では、医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導を行う医師との連携のもと入浴方法等の指導を行う人材を配置しており、その氏名及び活動の状況等は、以下のとおりである。

氏名	専門分野	活動内容	配置年度
いわしなクリニック 院長 岩科 弘純	内科	病院において、適正な温泉利用や健康管理についての指導などの温泉療養相談等を随時実施する。	H30年度～

(2) 配置計画又は育成方針等

新甲子温泉では、西郷村・西郷村観光協会・新甲子温泉旅館組合が共同で温泉入浴の適切な指導ができる温泉入浴指導員の充実を目指している。

5. 温泉資源の保護に関する取組方針

(1) 温泉資源の状況

新甲子温泉における主な泉質は単純温泉（低張性弱アルカリ性高温泉・ナトリウム—硫酸塩・塩化物・炭酸水素塩温泉）である。現在3本の源泉が6件の施設で利用されている。

源泉	温度 (°C)	湧出量 (ℓ/min)	泉質	湧出状況	所有者	利用施設
有限会社元湯 甲子温泉1号	45.1	300	単純温泉 (低張性弱アル カリ性高温泉)	動力揚湯	民間	旅館4施設
新甲子温泉開 発(株)源泉	44.6	177	単純温泉 (低張性弱アル カリ性高温泉)	動力揚湯	民間	
五峰荘源泉	70.0	240	ナトリウム一硫 酸塩・塩化物・ 炭酸水素塩温泉	動力揚湯	民間	旅館2施設

(2) 取組の状況

新甲子温泉における各源泉について、講じている保護に関する取組の状況は、以下のとおりである。

源泉	取組	実施主体	実施年度
有限会社元湯 甲子温泉1号	温度、湧出量、水位の現 地観測を月2回以上実施	源泉所有者	H8年度～
新甲子温泉開発(株)源泉、 五峰荘源泉	温度、湧出量、水位の現 地観測を年3回以上実施	源泉所有者	H8年度～

(3) 今後の取組方策

新甲子温泉において、実施主体と調整の上、(2)の取り組みを継続するとともに、それらに加え、以下の取り組みを進める。

源泉	取組	実施主体	実施予定年度
有限会社元湯甲子 温泉1号 新甲子温泉開発 (株)源泉 五峰荘源泉	現行の現地観測を継続して行い、結果を調査 日・天候とともに記録し保管する。	源泉所有者	R6年度～

6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

(1) 温泉の利用に当たっての関係設備等の状況

新甲子温泉において温泉の利用に当たって使用している設備及び温泉利用の状況は、以下のとおりである。
浴用利用のみ

温泉地	源泉数	浴用利用施設までの設備	浴用利用施設数
新甲子温泉	3	引湯管、貯湯槽、排水管	旅館6施設

(2) 取組の現状

新甲子温泉において温泉の利用に当たって使用している設備について、現在講じている衛生面での取り組みの状況は、以下のとおりである。

設備	区分	取組	実施主体
源泉	自主的	・源泉地において、ごみや雨水が入らないよう管理する。冬季も実施。	源泉所有者
引湯管	自主的	・引湯管について、バルブ、ドレン等の点検を不定期に実施。	源泉所有者
貯湯槽	自主的	・貯湯槽について、点検を月1回及び毎日目視での確認を実施。	源泉所有者
浴槽	条例等	・浴槽について、浴槽水の十分な補給・清浄を保持。 ・レジオネラ菌等の水質検査を半年に1回実施。 ・浴槽水を完全に排出後清掃を毎日実施。	設備所有者
設備周辺	自主的	・すべての設備周辺において、清掃を実施。	設備所有者・源泉所有者

(3) 今後の取組方策

新甲子温泉において、さらに温泉を衛生的に良好に保つため、実施主体と調整の上、(2)の取り組みを継続するとともに、それらに加え、以下の取り組みを進める。

設備	取組	実施主体
源泉	・地下水等の遮水対策の強化。	源泉所有者
引湯管	・不定期に行っているバルブ・ドレン等の点検を定期的に行い、保温等の確実な実施。	源泉所有者
浴槽	・浴槽のレジオネラ菌属等の検査を現状よりも多く実施。	設備所有者

7. 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策

(1) 温泉の公共的利用の状況

新甲子温泉は、甲子温泉より引き湯しており、温泉地として西郷村へ訪れる観光客や那須・会津への観光に向かう中継地として人気を集めている。

新甲子温泉における最近の温泉利用状況は、以下のとおりである。

(単位：人)

温泉地	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新甲子温泉	宿泊	7,336	4,377	4,255
	日帰	67,664	1,334	589
合計				

令和4年度の温泉の利用者数

(単位：人)

温泉地	区分	施設数	総定員		利用者数						
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
新甲子温泉	宿泊 日帰	6	285	宿泊	727	1,199	1,070	1,137	2,166	1,199	32,673
				日帰	2,101	2,415	2,598	3,251	2,671	2,519	
					10月	11月	12月	1月	2月	3月	
				宿泊	1,922	1,373	457	326	253	482	
				日帰	2,516	1,988	71	81	63	88	

(2) 取組の現状

新甲子温泉において、温泉の公共的利用の増進を図るため、現在行っている取組状況は、以下のとおりである。

温泉地	取組	実施主体
新甲子温泉	「うつくしま・みずウオーク源流の郷・西郷大会」を開催し、参加者全員に入浴券を配布。	西郷村観光協会
	温泉健康増進事業として、温泉チケットの割引券を販売。	西郷村

(3) 今後の取組方策

新甲子温泉において、さらに公共的利用の増進を図るため、環境の保全や環境配慮等に努めながら、同温泉を象徴する景観や施設などの観光資源や自然資源を保全・活用していく温泉地を目指し、実施主体と調整の上、

(2) の取り組みを継続するとともに、それらに加え、以下の取り組みを進める。

新甲子温泉	温泉入浴の適切な指導ができる温泉入浴指導員の充実を目指す。	西郷村・西郷村観光協会 新甲子温泉旅館組合
	中高層のみならず、老若男女問わない多くの観光客増進に向けて村内外のイベントなどを通して広くPR活動を行う。 旅館付近にある遊歩道や山等のハイキングを楽しめる手軽なコースの整備を検討する。	西郷村・西郷村観光協会 各温泉施設
	環境美化活動の実施。	四季を守る会

8. 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画

(1) 公共の用に供する施設の状況

新甲子温泉における公共の用に供する施設の状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施設
新甲子温泉	公有施設	道路（国道 289 号線）、新甲子遊歩道、
	私有施設	旅館（6 施設）

(2) 取組の現状

新甲子温泉において、高齢者、障害者等に配慮したまちづくりのため、現在行っている取り組みの状況は以下のとおりである。

温泉地	区分	施設	取組	実施主体
新甲子温泉	公有施設	道路	現状は特になし。	西郷村
		建築物	高齢者・障害者用の駐車場の設置 バリアフリー化を推進する。	西郷村
	私有施設		花いっぱい運動の実施。	西郷村観光協会

(3) 今後の取組方策

新甲子温泉において、さらに高齢者、障害者等に配慮したまちづくりを図るため、実施主体と調整の上、(2)の取り組みを継続するとともに、それらに加え以下の取り組みを進める。

温泉地	区分	施設	取組	実施主体
新甲子温泉	公有施設	道路	路線を調査し、障害者に不都合な箇所は 改修を検討する。	福島県・西郷村
	私有施設	建築物	入口スロープや手摺等のバリアフリー化 を推進する。 分離した歩道の整備を推進する。	各施設

9. 災害防災対策に係る計画及び措置

(1) 温泉地の地勢及び災害の発生状況

新甲子温泉のある西郷村は、福島県と栃木県の県境に位置しており、北は天栄村、東は白河市、南は栃木県那須町、西は下郷町に隣接しており、西側は山岳地帯である。新甲子温泉においては、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災による被害からも回復傾向であったが、新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制に伴う外出規制があり、営業への影響は少なくなかった。

(2) 計画及び措置の現状

新甲子温泉において現在、災害防止に関し策定している計画及び講じられている措置は、以下のとおりである。

温泉地	計画又は措置	計画又は措置の概要
新甲子温泉	土砂災害警戒区域の指定 地域防災計画（西郷村）	「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき、福島県告示第 239 号として指定 西郷村地域防災計画（平成 27 年修正）

（3）今後の取組方策

新甲子温泉において、さらに災害の防止を図るため、実施主体と調整の上、（2）の計画及び措置に基づく取り組みを継続するとともに、それらに加え、以下の取り組みを進める。

温泉地	取組	実施主体
新甲子温泉	甲子地域において、作成された西郷村地域防災計画に基づき、災害時の宿泊客等の避難、誘導等の自主防災計画を整備・充実を図る。 災害時の避難場所を広く確保する。	各事業者 新甲子温泉旅館組合

新甲子温泉位置図



新甲子温泉区域図

